

2022 年度 「学術研究基礎」シラバス
木曜日6～7限×4回:18時40分～21時35分

企画・担当: 小泉・中島・瀬田

□講義の目的

学術論文(修士論文、学会の査読論文など)の執筆に必要な基本的な知識・技術を習得し、同時に、仮説の設定、論理性、独自性(オリジナリティ)など、学術論文の執筆の際に理解することが不可欠な要素・概念について学ぶ。

□日程: 以下の4日(いずれも木曜日)の6～7限 18時40分～21時35分

5月12日(木) 【オンラインのみの予定】

6・7限限 小泉秀樹

都市そして都市計画/まちづくり研究とはなにか(その性質)、研究の型、援用し得る学術分野例の紹介など

5月19日(木) 【オンラインのみの予定】

6・7限 中島直人

都市工学と都市計画学、研究と実践、典型的な研究手法の紹介(歴史研究(史料論)、空間フィールドワーク、アクティビティ調査等)

5月26日(木) 【オンラインのみの予定】

6限 高堰うらら(技術補佐員)・瀬田史彦

文献の検索方法、研究・調査方法、研究の組み立て方・リサーチデザイン

7限 瀬田史彦

学術論文に必要な3つの要素、仮説(目的)の重要性、論理的であるとはどういうことか、独自性・オリジナリティ

6月 2日(木) 【オンラインのみに変更】

6・7限 学生からの研究テーマ・案の発表と公表(方式は後日指示) 小泉秀樹・瀬田史彦

□理解すべき事項

- ・学術的に意義のある研究・論文とは何かについて考え、基本的な概念を理解する。
- ・学術論文の執筆の作法・手法や、研究の進め方の基本を理解する。

□成績評価

出席と、講義中に課される発表課題によって評価する。

(以上)